

北郷町文化財調査報告書第4集

平成5年度埋蔵文化財調査概要

昼夜上遺跡
柿ヶ迫遺跡



1994. 3

北郷町教育委員会

北郷町文化財調査報告書第4集

平成5年度埋蔵文化財調査概要

昼夜上遺跡
柿ヶ迫遺跡

1994. 3

北郷町教育委員会

序

北郷町は県南部に位置し、縄文時代から現代までの人々の営みの痕跡である遺跡が多く存在しています。

平成5年度の発掘調査は、埋蔵文化財を緊急に保護する必要があるとの認識のもと、星野上遺跡・柿ヶ迫遺跡の調査を実施しました。この調査により遺跡の確認はもとより多数の資料を収集できましたことは今後の文化財の保護と開発事業との調整を進める上で大きな成果であると思われます。

今後とも、開発事業にあたっては、関係機関などと十分な協議をされることをお願いいたします。

平成5年度埋蔵文化財発掘調査事業にあたり、調査指導をお願いいたしました県教育委員会並びにご協力いただきました発掘作業員・工事関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

本報告書が文化財の研究及び文化財愛護思想啓発のための資料として役立つことを切望いたしますとともに町の文化行政に対しなお一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成6年3月

北郷町教育委員会

教育長 徳地青慈

例　　言

1. 本書は、北郷町教育委員会が平成5年度に文化庁・宮崎県教育委員会の補助をえて実施した平成5年度埋蔵文化財調査概要報告書です。
2. 発掘調査は、県営ふるさと農道緊急整備事業（星野地区）に伴う遺跡の確認調査として実施した。
3. 本書の執筆・製図・写真撮影等は時元が行った。
4. 遺物の整理については、井上百合子の協力を得た。
5. 本書の編集については、時元が行った。
6. 出土した遺物については、北郷町教育委員会で保管している。

本文目次

第1章 はじめに	1
第2章 位置と環境	2
第3章 発掘調査の概要	3
第1節 星野上B地区遺跡	3
第2節 星野上C地区遺跡	3
第3節 柿ヶ迫遺跡	4
第4章 おわりに	7

挿図目次

第1図 遺跡周辺位置図	2
第2図 星野上・柿ヶ迫遺跡トレンチ配置図	5
第3図 星野上C地区遺跡遺構配置図	6

図版目次

図版 1 星野上B地区遺跡	8
図版 2 星野上B地区遺跡	9
図版 3 星野上C地区遺跡	10
図版 4 星野上C地区遺跡	11
図版 5 柿ヶ迫遺跡	12
図版 6 柿ヶ迫遺跡	13

第1章 はじめに

北郷町内の遺跡の分布状況は、平成元年度の遺跡詳細分布調査（註1）で約50ヶ所が確認されている。その後、遺跡付近における開発行為が、近年、増加している。

そのため、北郷町教育委員会では、遺跡の区域内で工事が予定された地区について、事前に分布調査を行い、必要と認める場合には試掘調査を実施している。

本年度は、県営ふるさと農道緊急整備事業に伴い3ヶ所で発掘調査を実施した。調査を実施した遺跡は、星野上遺跡・柿ヶ迫遺跡である。遺跡の所在地と調査期間は、下記のとおりである。なお、星野上遺跡については、平成4年度調査地点（註2）の7トレンチから12トレンチをA地区とし、平成4年度調査地点5・6トレンチと今年度調査地点1トレンチから6トレンチをB地区とし、その東側をC地区とした。

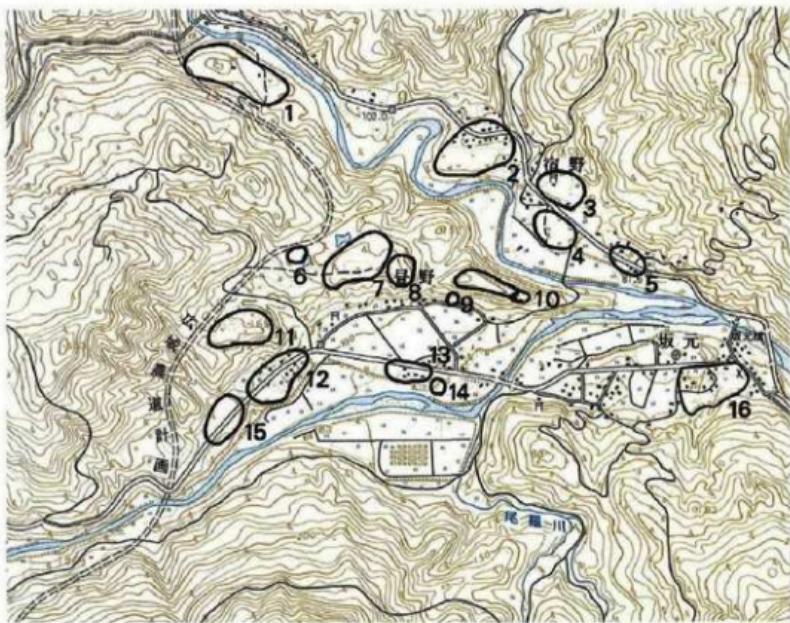
遺跡名	所在地	調査期間
星野上遺跡 (B地区)	北郷町大字北河内4373-38番地	平成5年12月1日から 平成5年12月3日まで
星野上遺跡 (C地区)	北郷町大字北河内4373-11番地外	平成6年1月18日から 平成6年1月22日まで
柿ヶ迫遺跡	北郷町大字北河内4077番地外	平成5年7月13日から 平成5年7月23日まで

第2章 位置と環境

星野上・柿ヶ迫遺跡は、広渡川の本流と黒荷田川の間に形成された丘陵上に所在する。この丘陵の囲まれた谷には、農業用水に利用するための溜め池が2ヵ所（註3）つくられており、周辺の谷から水が現在も流れている。

星野上遺跡は、平成4年度調査を実施した池之上遺跡の東側の丘陵にあり、B地区は、標高150mで上の池から伸びる丘陵で、C地区は、標高163mで池を囲むよう伸びた丘陵である。

柿ヶ迫遺跡は、星野上遺跡C地区と同じ丘陵上にあり、C地区の南東方向に位置する。



第1図 遺跡周辺位置図 (1 : 25,000)

1. 大塚遺跡 2. 前田遺跡 3. 宮の後遺跡 4. 宮の前遺跡 5. 牧野遺跡 6. 池之上遺跡
7. 星野上遺跡 8. 柿ヶ迫遺跡 9. 星野遺跡 10. 前山岩跡 11. 桑津留遺跡 12. 中須賀遺跡
13. 銀代田遺跡 14. 竹頭遺跡 15. 辰丸遺跡 16. 合原遺跡

第3章 発掘調査の概要

第1節 昼野上B地区遺跡

1. 調査に至る経緯

県営ふるさと農道緊急整備事業（昼野地区）に伴い排土捨て場になる範囲について確認調査を実施した。調査後、この場所は、盛土にして保存することになった。

2. 調査の方法と概要

調査方法は、トレンチ方法で行い平成4年度調査地点（5・6トレンチ）から北側の範囲を第1～6トレンチを入れて確認した。

基本層序は、第2トレンチの南西壁の断面で確認した。I層（表土）、II層（暗褐色砂質土）、III層（黄褐色土砂質土で御池ボラ混入する。）、IV層（暗黄褐色砂質土）V層（アカホヤ火山灰）、VI層（灰褐色粘質土）である。

出土遺物は、第2トレンチのII層下で縄文時代後期の土器が出土した。

第2節 昼野上C地区遺跡

1. 調査に至る経緯

県営ふるさと農道緊急整備事業（昼野地区）に伴い農道部分の確認調査を実施した。調査は、トレンチによる確認調査を実施したが、堅穴住居跡の一部を検出したため拡張して調査を実施した。

2. 調査の方法と概要

調査方法は、トレンチ法で当初実施していたが遺構を確認したため南側を拡張し、調査区を設定して行なった。

基本層序は、南側壁面で確認した。I層（表土）、II層（暗褐色砂質土）、III層（黄褐色土砂質土で御池ボラ混入する。）、IV層（暗アカホヤ火山灰）である。

調査の結果、弥生時代中期の竪穴住居跡3軒・土塙2基を検出した。
出土遺物は、第2層から出土しており、弥生中期の土器・磨製石器が出土している。

第3節 柿ヶ迫遺跡

1. 調査に至る経緯

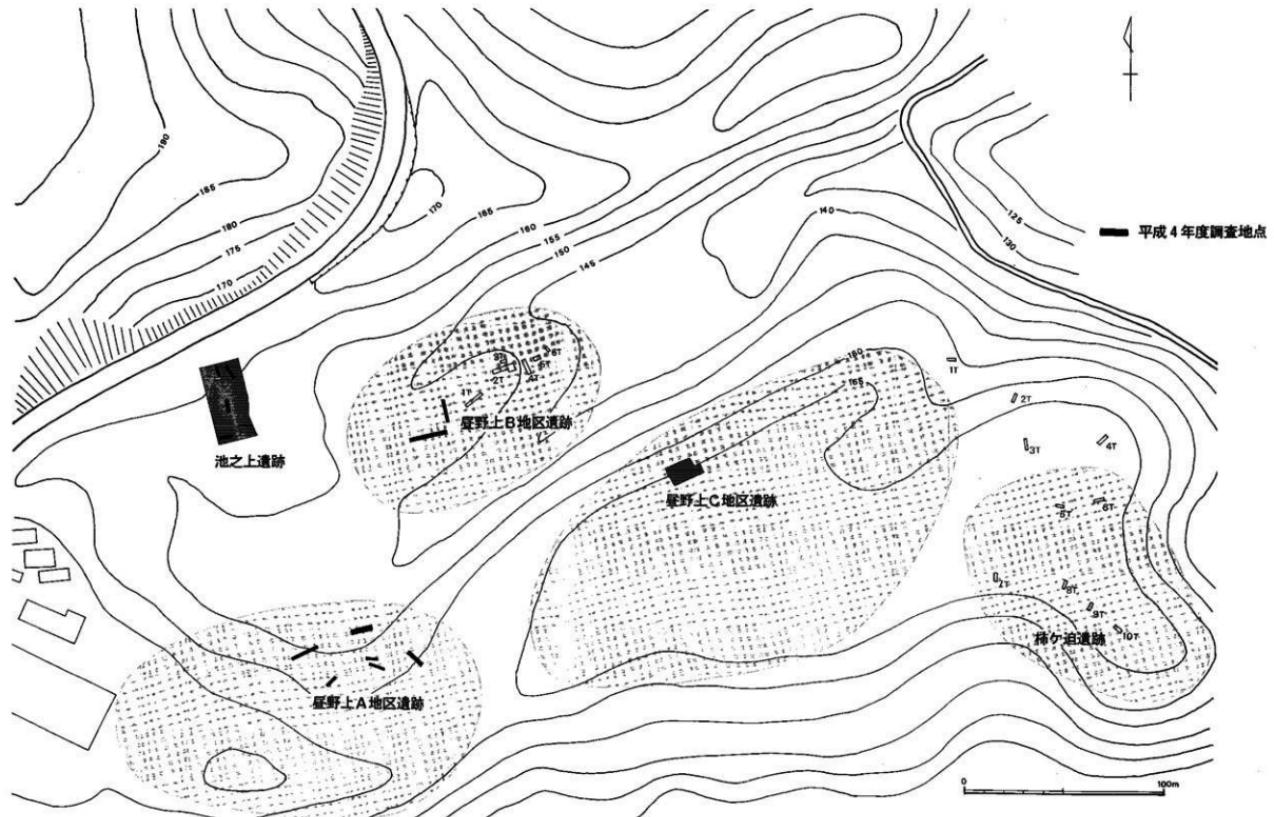
県営ふるさと農道緊急整備事業（屋野地区）に伴い切り土になる部分について確認調査を実施した。遺跡名は、屋野上遺跡としていたが遺跡の中心部分が字柿ヶ迫のため、柿ヶ迫遺跡と命名した。協議の結果、本年度造成されるため12月上旬～3月下旬にかけて発掘調査を実施した。

2. 調査の方法と概要

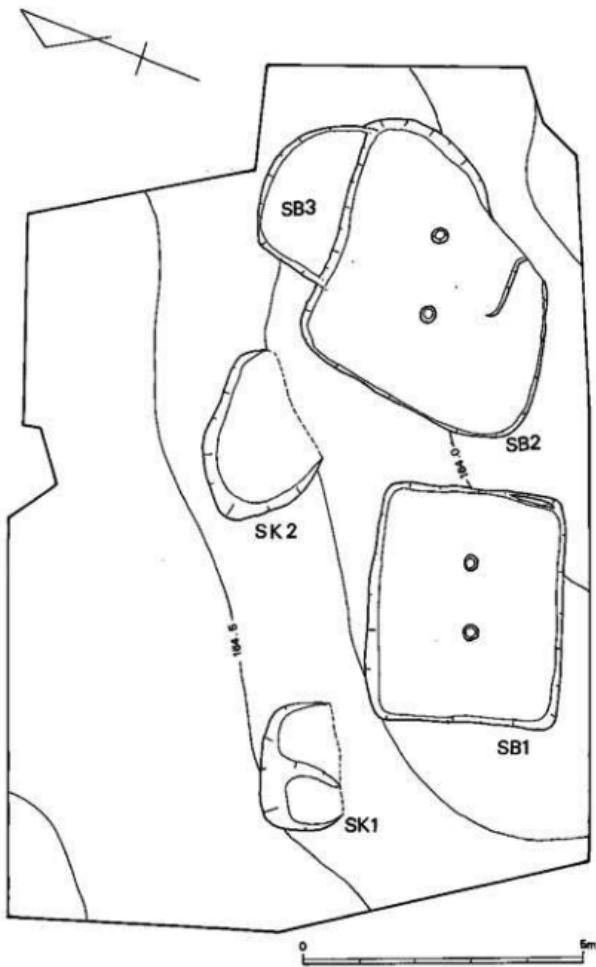
調査は、北側谷部から南側の丘陵先端部にかけて確認調査を実施した。調査方法は、トレンチ法を行い、第1～10トレンチにかけて調査した。

基本層序は、第9トレンチの南壁の断面で確認した。I層（表土）、II層（暗褐色砂質土）、III層（黄褐色土砂質土で御池ボラ混入する。）、IV層（暗黄褐色砂質土）V層（アカホヤ火山灰）、VI層（黒褐色砂質土）VII層（暗茶褐色砂質土）、VIII層（暗褐色土）IX層（暗黄褐色砂質土）X層（黄褐色粘質土）である。

出土遺物は、第7トレンチのVII層下で縄文時代早期の土器、第9トレンチのVII層で縄文時代早期の土器・IV層で縄文時代前期・中期の土器・II層から平安時代の土器が出土した。第10トレンチでもVII層で縄文早期の土器を確認した。



第2図 星野上・柿ヶ迫遺跡トレンチ配置図



昼野上 C 地区遺跡遺構配置図

第4章 おわりに

平成5年度の調査は、県営ふるさと農道緊急整備事業（星野地区）に伴い3ヶ所の確認調査を実施した。調査の結果、星野上B地区遺跡では、縄文時代後期の遺物が、星野上C地区遺跡では、弥生時代中期の竪穴住居跡2軒・土鉢2基を検出した。弥生時代の住居跡の検出は、本町ではじめてあり重要な資料である。また、柿ヶ迫遺跡では、縄文時代早期・晚期、平安時代の遺物が出土した。

本町では、平成6年度以降も大規模な開発が予定されており、文化財保護と開発事業との調整が早急に必要とされる。

註

- (1) 「北郷町遺跡詳細分布調査報告書」『北郷町文化財調査報告書』第1集
北郷町教育委員会 1990
- (2) 「平成4年度埋蔵文化財調査概要」『北郷町文化財調査報告書』第2集
北郷町教育委員会 1993
- (3) 平部鶴南 『日向地誌』(復刻版) 青潮社 1976

図 版

図版 1



星野上B地区遺跡遠景

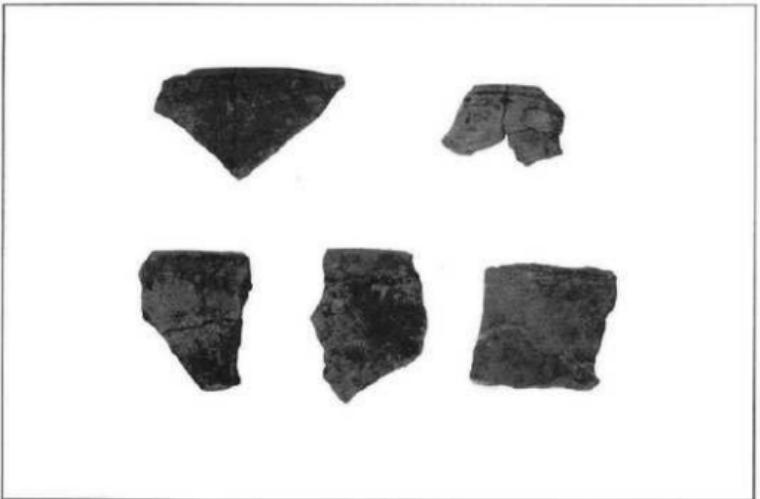


星野上B地区遺跡近景

図版 2



星野上B地区遺跡第2トレンチ調査状況

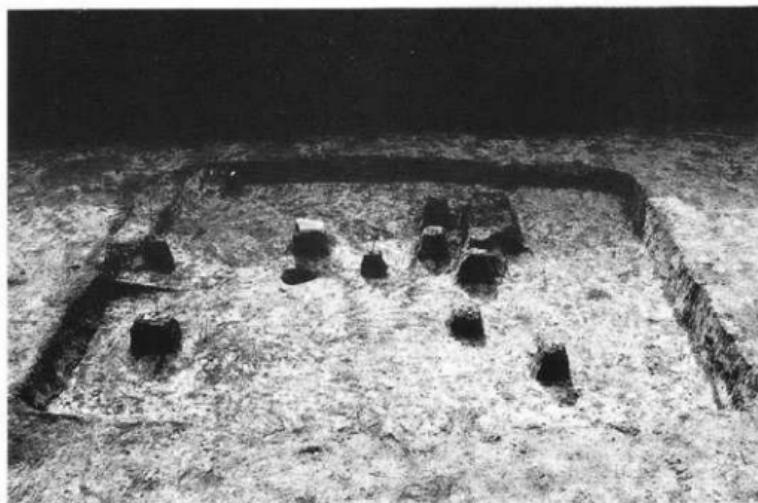


星野上B地区遺跡出土遺物

図版 3



星野上C地区遺跡検出状況

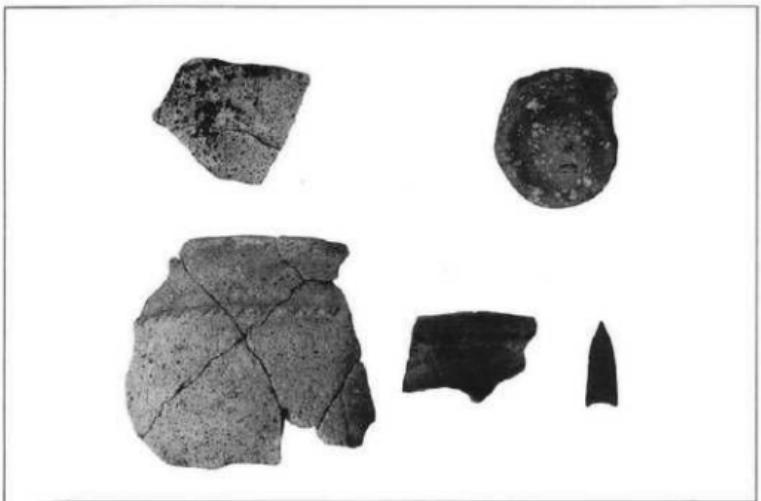


星野上C地区遺跡S B 3 遺物出土状況

図版 4



星野上C地区遺跡SB 1.2 遺物出土状況



星野上C地区遺跡出土遺物

図版 5



柿ヶ迫遺跡第7トレンチ調査状況

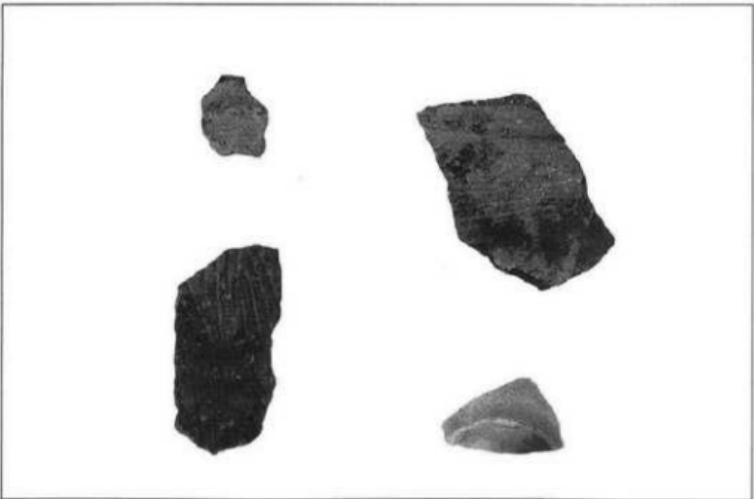


柿ヶ迫遺跡第9トレンチ調査状況

図版 6



柿ヶ迫遺跡第9トレンチ遺物出土状況



柿ヶ迫遺跡第9・10トレンチ出土遺物

平成5年度埋蔵文化財調査概要報告書

平成6年3月31日

編集・発行

宮崎県北郷町教育委員会

南那珂郡北郷町大字郷之原乙1477

印 刷

有限会社ヤノオフセット

